

# 協力

59



伝道団体連絡協議会

〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室  
Tel. 03-3291-5035  
www.dendankyo.com

## FRONT ESSAY

### ……何を見に行ったのですか。 ……なぜ行ったのですか。 (マタイ11:8,9)



伝道団体連絡協議会 総務  
岡田哲夫

都会の通勤電車は、今も昔も混んでいます。それぞれの目的地を目指して、定員以上に乗っています。毎朝、全く知らない人と至近距離「0」というのは、異常な空間です。先日、韓国の方と話している時に、日本のラッシュアワーの話になり、「乗客の表情が硬く、非常に怖い」と言っていました。何かピリピリした感じを受けるようです。仕事や時間のこと、抱えている問題等を気にしているからでしょうか……。日常に起こる事件は、重く悲しいものばかりです。自分でも、そんな事件に囲まれて、とても疲れているのを感じます。

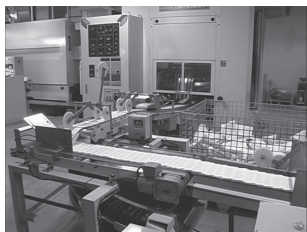
押し寄せてくるのは、ラッシュアワーの人だけではありません。「情報」もそのひとつです。いろいろな媒体を通して流れてくる情報、特にインターネットを通じてくる情報、手に入る情報の多さには驚くばかりです。世界規模の多くの情報の中で、私たちは何を見に行けばよいのでしょうか、何を知るべきでしょうか。

今回、私たち伝道団体のオフィシャル・ホームページが新しくなりました。ここには「主にあるいのち」があります。主のために働く団体の「今」があります。ここにはアクセスすべきものがあり、見るべきものがあります。各伝道団体の働きの「今」を知り、祈り、具体的な協力をしていきたいと思えます。そのためには、インターネットはとても便利なものです。時と場所を選びません。いつでもどこでも、見たいときに、知りたいときに、アクセスできます。またインターネット上でネット・フェスティバルも可能でしょう。インターネットの虜になるのではなく、活用することが大切だと思わされます。

私たちは「日本をキリストへ」の使命のもとに、一致してゆきたいと思えます。ぜひ、伝道団体連絡協議会のオフィシャル・ホームページを頻繁に見てください。また、新しい情報をお寄せください。地理的に離れていても、いつも主においてひとつであることを覚えて進みたいと思えます。

伝道団体連絡協議会ホームページ <http://www.dendankyo.com>  
新しい情報は [info@dendankyo.com](mailto:info@dendankyo.com) までご連絡ください。

宗教法人 ニューライフ・ミニストリーズ



## ■歴史

- 1954年 アメリカ人宣教師フレッド・ジャービス氏により創立
- 1959年 「新生運動協力会」として印刷業をスタート
- 1960年 埼玉県新座市に1500坪の土地を購入し本格的に印刷を始める
- 1970年 大阪万博にて100万冊聖書頒布。  
ノルウェー宣教師アンドゥース氏2代目総支配人に就任
- 1977年 輪転印刷機を導入
- 1978年 ノルウェー宣教師ロアルド・リーダル氏3代目総支配人に就任
- 1991年 ソビエト連邦崩壊にともないロシア語聖書600万部頒布
- 1995年 現在地（鳩山町）に新社屋と工場を建設  
移転に伴い三菱B判1色輪転印刷機を導入
- 2001年 三菱A判4色輪転印刷機を導入
- 2004年 創立50周年を迎え、現在に至る。

## ■沿革

新生宣教団は1954年創立以来、世界中の国々に聖書を送り届けています。現在は、7カ国のスタッフが主にあって一つにされ、イエス・キリストの福音を伝えるべく宣教の業に励んでいます。しかし、時代は急速に変化し、神の言葉である聖書の必要性を訴える声が世界中で急激的に高まっています。

私たちは彼らの切なる要望に応えるべく、大型高速印刷機を導入し年間500万冊の聖書、1500万冊の福音文書を印刷することに全力を尽くしています。私たちの目標は、日本が神の愛によって変えられること、そしてこの働きを通して、全世界に向けて神の栄光を放つ灯台となることです。



新生宣教団  
New Life League, Japan

## ■新生宣教団のロゴマークの意味

円内にある3つのEは、キリストが言われた「全世界に出て行って、すべての造られたものに、福音を宣べ伝えよ」を意味しています。

すなわち、Everybody（すべての人に）、Eternal Life（永遠のいのちを）、Evangelism（宣べ伝える）を表します。



## 伝道団体連絡協議会 2006年度セミナー

文・浅見鶴蔵

(伝道団体連絡協議会 副会長・研修会担当)



2006年11月18日(土)、伝道団体連絡協議会(以下、伝団協)の2006年度の研修会が、お茶の水クリスチャン・センター 415号室にて開催されました。伝団協加盟団体の6団体から9名、未加入団体から6名、合計15名の方が参加してくださいました。

開会礼拝は、浅見の司会で始まり、会長の姫井雅夫氏がセミナーの趣旨を説明しました。「日本のクリスチャン人口は1%、ギャラップ調査では4%と言われているが、このギャップをどう受け止めたらいいか」というテーマに基づいて、3人の講師に発題、講演をしていただきました。

最初に、「リバイバル新聞」編集長・久保田文吾氏が、「変わりゆく・日本の素顔」(JEMA=日本福音宣教師団)という資料に基づいて、「人生の役割と目標」「日本人の新しい人生観」等について語ってくださいました。

次に、花蘭征夫氏(CIS=教会インフォメーションサービス代表)が、パワーポイントを用いながら日本の教会の現状報告をしてくださいました。

そして最後に、中島秀一師(荻窪栄光教会主任牧

師)に、「日本宣教の課題~1%の壁を破るために」と題して、<I.日本の教会の現状、II.教会の停滞の外的要因、III.教会の停滞の内的要因>等の項目に沿って、大変有意義な講演をしていただきました。「わが国は2009年に宣教150周年を迎える。同胞の救霊と健全な教会の建設のために、すべての教会とすべての伝道団体が、その持てる力を結集して、小異を捨てて大共に立って1%の壁を破るべく、あらゆる手段と方法を持って立ち上がるのではないかと結んでいただきました。

閉会礼拝では姫井師から、「最初の日から今日まで、福音を広めることにあずかって来たことを感謝しています。あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は強く信じているのです」(ピリピ1:5~6)というみことばを頂き、祈りをもって終わりました。

参加された方々が、今回のテーマに大変興味・関心を持っていることがわかりました。また機会がありましたら、このような研修会を開きたいと思います。

### 講演から

「リバイバル新聞」編集長  
久保田文吾氏



「伝道には、時には直球、時には変化球も必要である。」

教会インフォメーションサービス 代表  
花蘭征夫氏



「信徒一人一人が熱心さをもってあかしをしていくことが求められる。」

荻窪栄光教会 主任牧師  
中島秀一師



「神の愛、イエス・キリストを伝えることの使命を任されているのであるから、びくびくせずに、心配せずに主に守られ信頼して伝道していこう。」



## 祈り合い、支え合う

### <報告>情報交換会

文・岸田 悟(伝道団体連絡協議会・会計)

2007年1月16日(火)午後2時から、お茶の水クリスチャン・センターにて伝道団体連絡協議会の「新年情報交換会」がもたれました。今回は14の加盟団体からの参加者が集まり、意見交換と祈り合う幸いなときが与えられました。

第1部は、伝団協代表・姫井雅夫師のメッセージを含む礼拝のときでした。第2部では各参加団体から近況と祈祷課題があげられました。また新しく開設された伝団協オフィシャル・ホームページについて、姫井師と開設にお骨折り頂いた太平洋放送協会・東氏より説明と活用のアピールがありました。その後、祈りのときがもたれ、欠席団体からの祈祷課題を中心にお互いのために祈りました。

今回の参加団体は、いのちのことば社、お茶の水クリスチャン・センター、国際ナビゲーター、JTJ宣教神学校、新生宣教団、総動員伝道、日本伝道者協力会、太平洋放送協会、日本キリスト伝道会、日本国際飢餓対策機構、日本聖書協会、光のミッション、ブリッジス・フォー・ピース、ワールド・ビジョン・ジャパンでした。これだけの多分野にわたる伝道団体が集まると、それぞれの抱える課題や目標もさまざまですが、究極的な目的である神の国実現のため、祈り合い、支え合うことができるのは大きな励ましです。

個人的にも会計をさせていただいておりますが、他の役員の方々との親交を通して多くのことを学んでおります。キリストをとおしての出会いと交わりに感謝いたします。

## 公 告

下記の通り、  
伝道団体連絡協議会 年次総会を  
開催致します。

### ●日時

2007年4月23日(月)  
午後2時～4時

### ●場所

お茶の水クリスチャン・センター  
415号室

※やむを得ず出席できない団体は、  
委任状の提出をお願いします。

### 力を合わせれば…!



伝道団体同士が一致・協力して、どんなことができるでしょうか。それぞれの得意分野を生かして、かつての「伝道団体フェスティバル」のような催しができないでしょうか。アイデアをお寄せください。

伝道団体連絡協議会 役員会  
info@dendakyo.com